

令和5年度 事業計画

※ 令和4年度→令和5年度見直しポイント

I 国際化促進事業

1 国際交流事業 計画額 2,519千円

(1) 草の根国際活動助成

民間レベルの国際交流、国際協力及び多文化共生活動を奨励するため、国際交流団体等の自主的な活動に対し助成を行う。

助成額：1団体につき1事業限度額10万円（ただし、多文化共生事業は20万円まで）

(2) とやま国際草の根交流賞

国際交流や国際協力の活動を草の根レベルで実践している個人、団体を顕彰し、県民の国際交流や国際協力に対する意識啓発、向上を図る。

表彰者数：概ね10件以内

(3) 国際交流フェスティバル

国際交流や国際協力などに取り組む県内の団体の活動状況を紹介するとともに、県民が異文化に触れる機会を提供する。

時期：11月12日（日） 場所：富山市中規模ホール（駅北）

主催：とやま国際センター、JICA北陸、富山市民国際交流協会が組織する実行委員会

2 国際協力事業 計画額 73,940千円

(1) とやま研修員等の受入

ア とやま研修員

富山県が受け入れるとやま研修員の滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定	南 米	1名
	中 国	1名
	韓 国	1名

イ 多文化共生推進研修員

ブラジル人児童の学習支援のため、富山県が受け入れる多文化共生推進研修員の滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定	ブラジル	1名
------	------	----

(2) 外国人留学生への支援

ア 県費留学生の受入

富山県が県内の大学へ受け入れる留学生の滞在中の日常生活等を支援する。

受入予定	南米	1名
	インドAP州	1名

イ 私費留学生への支援

⑦ 富山県国際交流奨学金の交付

県内の大学、短大、高等専門学校に在籍する成績優秀な私費留学生及び専門学校で日本語を学ぶ学生に対し、奨学金を支給する。

○ 私費留学生（国費、県費留学生、他の奨学金受給者を除く。）

・大学等	（在籍1年目）	月額10,000円	支給予定	23名
・大学等	（在籍2年目以上）	月額50,000円	支給予定	23名

○ 日本語教育機関の学生 月額3,000円 支給予定 112名

⑧ 国民健康保険の加入助成

私費留学生及び日本語教育機関の学生の国民健康保険加入促進のため助成金を交付する。

・助成額	年額12,000円	
・支給予定	私費留学生	321名
	日本語教育機関学生	112名

㊦ 留学生の住宅確保への支援

留学生が安定した居住環境で生活が営めるよう、住宅の賃貸借契約を行う際にとやま国際センターが連帯保証人となる。

ウ アセアン留学生の受入

富山県が県内企業と連携して、留学から就職までを一体としてアセアン地域から受け入れる留学生の滞在中の日常生活等を支援する。

第5期 受入留学生 インドネシア2名、ベトナム1名 合計3名
受入期間 令和5年10月～令和8年3月(2年6ヵ月) 予定

(3) NOWPAP支援協力事業

国際連合の機関であるNOWPAP(北西太平洋地域海行動計画)地域調整部富山事務所の活動が円滑に運営されるよう支援する。

(4) 青年海外協力隊事業への支援

JICA(独立行政法人国際協力機構)が実施する青年海外協力隊をはじめとするJICAボランティア事業参加者の帰国後の活動を支援する。

(5) 海外移住者及び関連団体への支援

在外県人会活動費補助金	1,270千円(ブラジル、アルゼンチン、ペルー)
南米協会活動費補助金	1,000千円
海外移住家族会活動費補助金	5,415千円

3 多文化共生事業

計画額 22,833千円

(1) 多文化共生フォーラム開催事業

県からの受託により、県民や在在外国人の多文化共生に関する理解を深めるため、講演会、パネルディスカッション等を実施する。

(2) 富山県外国人ワンストップ相談センターの運営

県からの受託により、県内在住の外国人に対して情報提供や相談を行う「富山県外国人ワンストップ相談センター(令和元年6月18日開設)」を運営する。

ア 外国人のための生活相談等の実施

県内で暮らしている外国人が母語で相談できるよう、外国人の相談員や国際交流員が面談または電話等で対応する。

- ・専任職員(相談コーディネーター及び相談員)を配置し、3ヶ国語(英語、中国語、ポルトガル語)については、平日9:00～17:00で常時対応
- ・その他の言語については、ベトナム語(火・木曜日9:00～17:00)、韓国語・テルグ語(月曜日13:00～17:00)、ロシア語(火曜日13:00～17:00)は国際交流員が対応
また、上記以外の言語については、通訳サービス会社と契約済み(13言語)のiPadや多言語翻訳機(ポケットーク)で対応
- ・生活相談をリアルタイムで解決できるよう三者通話機(NTTトリオフォン・トリオフォン携帯)を活用し、具体的な照会先となる関係機関等と相談者の通訳サポートを実施

イ 相談員のスキルを高めるための仕組みの構築

- ・コーディネーターと相談員で相談内容を共有し、ケースに応じて複数日をかけて相談に対応
- ・定期的に相談事例についての検討会(富山県国際課、とやま国際センター、富山県ワンストップ相談センター)を実施
- ・相談員が悩みを共有できる機会の企画
- ・相談結果の共有のためのデータベース化を実施
- ・相談者のスキル向上を目指す研修会の実施

ウ 相談体制の充実を図るための関係専門機関との連携強化

- ・国の機関、県・市町村の他の相談窓口、外国人支援機関(日本語教室やNPO等)と連携を強化
- ・「富山県外国人ワンストップ相談センター」の存在を外国人や関係機関に周知するための広報活動の実施

(3) 地域日本語教育事業

ア 地域日本語教育体制整備事業

外国人住民を対象に基礎日本語教室を開催するとともに、県内の日本語教育環境を強化するため、日本語事業全般のコーディネート業務を行う。

時 期：通年 対象者：県内在住外国人 場 所：県内数か所

イ 日本語支援強化事業

○日本語交流サポーター養成講座の開催

時 期：5月～9月 全12回 定 員：各教室20名程度 場 所：富山市

○日本語教室運営支援事業

地域日本語教室に日本語教育専門家の派遣等を行い、教室の安定的運営と日本語支援スキルの向上を図る

○日本語支援者スキルアップ研修会

県内各日本語教室のボランティア等のスキルアップや情報交換を目的とし、研修会等を開催

※「外国語の絵本よみきかせ親子の会」は実施とりやめ

(4) 災害時の外国人支援のための防災訓練事業

災害時に外国人住民を支援する人材の育成を図るとともに、大規模災害を想定した「災害多言語支援センター」の運営訓練等を実施する。

ア 災害時外国人支援ボランティアの養成

災害時における「やさしい日本語」「多言語」による情報提供等研修会を実施

時 期：7月 場 所：県総合防災訓練関係市町村

参加者：国際交流人材バンク登録者、ボランティア希望者等 各約20名

イ 市町村等担当者向け基礎研修

災害多言語支援センターや避難所設置・運営研修を実施

時 期：10月 場 所：富山市

参加者：災害発生時に災害多言語支援センター設置・運営に係わる者等

(市町村防災担当者、国際交流協会担当者、地域の防災関係者等)

ウ 広域連携による防災研修（北陸三県の県及び国際化協会が共同で持ち回り開催）

大規模災害時における石川県、福井県との連携を想定した「災害時外国人支援防災研修」の実施

時 期：8月 場 所：石川県内

参加者：災害時外国人支援ボランティア養成者等 約20名

エ 富山県総合防災訓練への参加

富山県総合防災訓練において「災害多言語支援センター」運営訓練等を実施

時 期：9月 場 所：富山県内

参加者：災害時外国人支援ボランティア養成者、外国人参加者等 約30名

※「外国人のための防災研修」の事業趣旨を総合防災訓練時に取り込む

(5) オンライン多文化理解連続講座

富山に縁のある海外在住者、有識者等を講師に迎え、各国の歴史や文化、生活習慣等についてオンライン講座を開催（年4回程度）

※「異文化理解コミュニケーションワークショップ」は実施見合わせ

4 国際理解・研修事業

計画額 3,042千円

(1) 語学講座の開催

講座名	コース名	定員	対象者	時期・回数
中国語講座	入門	30名	一般	6月から3月まで 毎週1回 年間30回
	初級	10名		
	中級	10名		
韓国語講座	入門	30名		
	初級	10名		
ポルトガル語講座	初級	10名		
英語講座	初級	30名		
ベトナム語講座	入門	30名		

(2) 国際理解出前講座

地域の国際交流協会や小中高校、大学などからの要望に応じて現場へ出向いて講座を開催し、国際交流・国際理解・国際協力を促進する。

講師：国際交流員、JICA職員、青年海外協力隊OB等

(3) 国際交流サロン(ナマステ・インド)

インド出身の国際交流員が、毎回、テーマを設けてインドのさまざまなことについて県民に英語で紹介するとともに、そのテーマについて参加者みんなで英語で自由に語り合う。

時期：毎月第2、第4月曜日 夜6時30分から90分程度 場所：とやま国際センターラウンジ

(4) とやま国際塾

各国からの国際交流員、とやま研修員、留学生等との交流を通じて、高校生の国際感覚の醸成を図るとともに、国際交流、国際協力や多文化共生に関心を高めてもらう。

時期：7月 定員：30名

(5) 国際交流ひろば

7カ国から受け入れている国際交流員を講師とし、県民との交流を通じて国際理解を深めるとともに国際感覚の醸成を図る。

国際交流員4名（米国、中国、韓国、ロシア、ブラジル、インド、ベトナムのいずれか）
4回開催

5 情報サービス事業

計画額 1,987千円

(1) 情報発信事業

県民の国際交流、国際協力、多文化共生等に関する関心、理解を高めるとともに、県内在住の外国人に対して生活に必要な情報を提供することなどを目的として、ホームページ、SNS、機関紙「TICNEWS」等を通して情報発信を行う。

※「What's Happening」の発行、「多言語メールマガジン」の配信はとりやめ

※(新) (2) デジタル化対応研修会

富山県内の国際交流団体、日本語支援ボランティア等が昨今のデジタル化に対応できるよう、スキルアップ向上を目指し研修会を年3回程度開催する。

例：Zoom操作、Googleドライブ活用、海外とつなぐイベント実例

(3) 国際交流人材バンク

通訳・翻訳・日本語指導・ホームステイ受入れ・海外事情の紹介、災害時外国人支援ができる人材の登録と紹介を行う。

また、通訳者を対象としたレベルアップのためのセミナーを開催する。(1回/年)

※「環日本海交流会館」は運営終了

6 富山県大連事務所運営事業

計画額 36,811千円

本県の中国における活動拠点として富山県大連事務所の運営を行う。

職員：常勤4名

所長(県派遣職員)、副所長(県内企業派遣職員)、現地採用職員2名

II 日本海学推進事業

計画額 7,503千円

1 日本海学講座

一般県民を対象に大学教授等の研究者による日本海学に関する講座を年4回開催する。

時期：8月、10月、11月、12月 場所：富山市、高岡市

2 日本海学シンポジウム

一般県民を対象に日本海や環日本海の理解を深めるためのシンポジウムを年1回開催する。

時期：1月頃 場所：富山市

3 大学講座等推進事業

富山大学 「総合科目特殊講義－日本海学－」に講師を2回派遣

富山国際大学 「環境デザイン特別講義」に講師を3回派遣

富山県立大学 「富山と日本海」の講義に講師を3回、「環境論Ⅰ」の講義に講師を2回派遣

4 日本海学研究グループ支援事業

日本海学に関する研究、普及・実践活動に取り組む個人、グループ、団体に対して助成する。

5 環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業

富山大学極東地域研究センターが行う「SDGsと北東アジアにおける資源の環境と持続的経済成長」をテーマとする調査研究活動に助成し、その成果を広く県民に普及する。

6 富山湾魅力体験親子教室

富山湾の魅力を親子で学ぶ海洋教室を開催する。

時期：7、8月頃 対象：小3～小6(原則保護者同伴)

III 旅券関係事業

計画額 42,522千円

旅券の発給申請の受理及び交付事務の補助業務を行う。

名称	富山県旅券センター	富山県旅券センター高岡支所
所在地	富山市桜町1丁目1番61号(マリエとやま7階)	高岡市御旅屋町101番地(御旅屋セリオ7階)
受付時間	月曜日から金曜日 申請・交付 9:00～16:30 ただし、交付は火・木に限り19:00まで 日曜日 交付のみ 9:00～16:30	月曜日から金曜日 申請 10:00～16:30 交付 10:00～17:30 日曜日 交付のみ 10:00～17:30
閉庁日	土曜日・祝日及び年末・年始(12月29日から1月3日)	